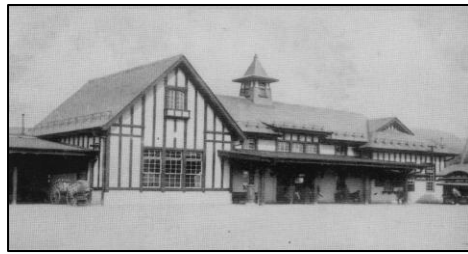


◆鎌倉駅

横須賀線の開通に伴い、明治22年(1889)6月に開業。その後、大正3年(1914)にトンガリ屋根に時計塔の「洋風造り」の駅舎が建築されました。

現駅舎は、市民公募により設計、改築され昭和59年に完成したものです。



◆若宮大路・段葛

若宮大路は、源頼朝が妻政子の安産を祈願し整備したもので寿永元年(1182)に完成。

段葛は、鎌倉時代は一の鳥居まであったとされています。平成26年秋から改修され本年3月30日に竣工式が行われました。



◆赤橋(太鼓橋)

太鼓橋は、寿永元年(1182)に源平池が造営されたときに架けられたと云われています。当時は、朱塗りの板橋で赤橋と呼ばれていました。現在の橋は、コンクリート、石、擬宝珠は青銅で造られています。和田合戦の時、和田方の武将土屋義清が流れ矢に当り、この付近で落名しています。

◆実朝桜・静の桜

流鏝馬が行われる「馬場」付近にあります。実朝桜は、甥の公暁によって暗殺された実朝の首が葬られたという秦野市から、平成23年に移植された八重桜です。また、静の桜は、源義経の愛妾「静御前」ゆかりの地福島県郡山市により植樹されたものです。

◆大蔵幕府跡

現在の清泉小学校付近にありました。頼朝が鎌倉へ入った治承4年(1180)から宇都宮辻幕府に移る46年間、武家政治創業の地でした。南北約220㍍、東西約270㍍で東西南北に4つの門がありました。和田合戦の時、この付近は激戦地でしたが、三浦義村の裏切りもあり、将軍実朝は北門から北条義時らと法華堂へ立ち退いています。

◆法華堂・頼朝の墓

法華堂は、文治5年(1189)に頼朝が「聖観音像」を本尊として建立した持仏堂です。頼朝の死後、法華堂と呼ばれるようになり現在は、頼朝の墓となっています。現在の墓の多層塔は、安永8年(1799)に薩摩藩主島津重豪が建てたもので、勝長寿院にあったものを移したと云われています。

◆荏柄天神

日本3天満宮の一つです。この付近に、和田義盛の甥「胤長」の屋敷がありました。胤長は、和田合戦の遠因となった「泉親衡の乱」に加わり陸奥国岩瀬郡に配流となり、和田合戦後に処刑されています。

◆宝戒寺(北条氏執権屋敷跡)

天台宗の寺院で、創建は建武2年(1335)です。付近の東勝寺で自害した執権北条高時の慰霊のため後醍醐天皇が天台宗の高僧・円観を開山として造営したものです。鎌倉時代は、代々の執権屋敷として利用されていました。

◆若宮大路幕府跡

3代執権北条泰時が設置した最後の幕府跡で、嘉禎2年(1236)～元弘3年(1333)までの98年間置かれていました。

◆宇都宮辻幕府跡

元は宇都宮氏の屋敷跡で、嘉禄元年(1225)～嘉禎2年(1236)までの11年間置かれていました。

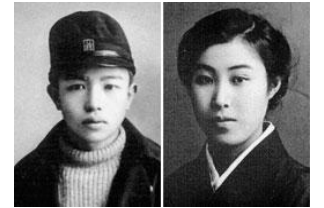
◆本覚寺

日蓮宗の寺院で、山号は妙巖山です。身延山の久遠寺にあった日蓮上人の遺骨を分骨したため「東身延」と呼ばれている由緒寺院です。

◆妙本寺

開基は、比企一族の比企三郎能本です。開山は日蓮上人で文応元年(1260)に、日蓮上人により長興山妙本寺と名付けられました。

境内には、朱塗りの「二天門」や日蓮上人を祀る「祖師堂」などがあります。なお、祖師堂前の「海棠」は鎌倉海棠の一つで詩人「中原中也」評論家「小林秀雄」が女優「長谷川泰子」を巡って海棠の前で話し合ったと伝えられています。



◆和田塚

元は、古墳時代の高塚式円墳で鎌倉に残る唯一のものと云う説もあります。明治22年道路の拡幅工事で、この地にあった無常塚の一部が壊されました。この時、多くの人骨、土器などが発見され、それ以後に無常堂塚が「和田塚」と呼ばれるようになったと伝えられています。

塚の上にある「和田一族戦没地」の碑は、明治42年に建てられたものです。